

USパテントニュース

東芝の再審認められる

カリフォルニア高等裁判所は、フラッシュメモリー技術に関する営業秘密について、Toshiba Corp. (東芝)とLexar Media Inc.との間で継続中の法廷闘争において、東芝の再審を認めました。Lexar に465 百万ドルの賠償金を認めた10月の決定に対して東芝が再考申請を行った後に、裁判所が判決を下したとのこと。10月の決定は、東芝がLexarの営業秘密を盗用した罪があるとした3月の陪審員の評決を支持しました。Lexarは、2002年に当時パートナーだった東芝が競業他社であるSanDisk Corp.と提携関係を結んだときに訴訟を提起しました。最新の動向では、裁判所は3月の陪審員の評決を覆さなかったが、賠償額については十分な証拠がないと述べたとのこと。です。

2005年の特許出願数過去最高に

USPTOは、2005年度(2005年9月30日まで)に出願された特許および商標出願数が過去最高になったと発表しました。最近発行された年次報告書(“Performance and Accountability Report”)によると、USPTOは、2005年度に406,302件の特許出願および323,501件の商標登録出願を受領したとのこと。特許出願数の増加の多くは、在留外国人による出願であると報告されています。USPTOは、2005年度に165,485件の特許(151,079件の実用特許、13,395件の意匠特許、816件の植物特許を含む)を許可し、そのうち米国在留の発明者によるものは85,238件でした。1790年から700万件以上の米国特許が許可されています。USPTOは、2005年度に143,396件の商標を登録し、32,279件を更新しました。1870年に登録された最初に商標から、300万件以上の商標が登録されています。2005年度末には、存続中の商標登録は1,255,570件になりました。

以上は米国 GREENBLUM & BERNSTEIN 法律事務所から許可を得て、同事務所が発行した ASIAN PRACTICE GROUP NEWSLETTER から抜粋、翻訳したものです。